



ぬりんちゅ つうしん

塗人通信

☆トーションリフォームがお客様に贈る 新感覚のニュースレター☆

激旨ランチ 食べある日記

鐵馬廐

厚木市の郊外にある、鐵馬廐を紹介합니다。「てつまや」と読みます。

バイク乗りが集う店としては有名な店で、古民家を改装して営業しています。

いわゆる、バイカーズカフェというくくりのお店ですが、もちろん車の来店もOKです。

料理はどれも美味しいのですが、出汁巻き玉子が絶品です！

豚の角煮も捨てがたいですし、煮魚も美味しいんですよね…。

店内に店主の乗っているハーレーが飾られているのですが、物凄く格好いいんですね。あんなバイクに乗れたら格好いいのになあ、なんて妄想をしてしまいます(*^-^*)



住所 神奈川県厚木市
上萩野1859
電話 046-281-8911
ランチ予算
1000円～1500円
おすすめメニュー
出汁巻き玉子定食

古書探究 ブレイブストーリー 著・宮部みゆき

主人公の三谷亘は、小学校に通うごく普通の男子。ある日、父親が離婚を切り出したことによって日常が一変してしまう。

父親が一方向的に離婚を宣言して家を出てしまったことによって、亘は父親の恋人との対決や、母親の自殺未遂などさまざまな困難に直面します。

現実を受け入れられない亘は、運命を変える事が出来るという、幻界へと赴き、女神がいる運命の塔を目指すか…!?

元の生活を取り戻すため幻界に身を投じる亘は、自分のことだけでなく幻界の行く末を案じるように…。

多くの出会いと別れを繰り返して、少年が成長していく物語です。

壮大なストーリーでありながら、サクサクと読めるのは宮部みゆきならではのですね。

アニメ映画にもなっている人気作品ですが、原作は一味違った感じなので、映画を観た人にもお勧めです。



塗装屋社長が雨漏りを考える 塗る事よりも大切な事 No.15



今回のテーマは「軒の出幅について」です。

最近の家は、屋根の軒の出幅が小さくなってきている傾向にあります。

昔の家は、右の画像の様に軒の出幅が45センチ～60センチ程度の家が多く、中には90センチほど出ているような家もありました。

しかし、最近の家は、右の画像のように30センチ以下の建物が多く、中には軒の出がゼロという家も多く見られるようになりました。

軒の出幅がゼロであったとしても、必ずしも雨漏りに直結するような事はなく、各端末に適切な施工がなされていれば、基本的には雨漏りは起こりません。

しかし、適切な工事が行われていなかった場合や、経年劣化によって、何らかの異変が発生してしまった時に、軒の出幅が大きな働きをします。

10年以上前は雨漏りの原因は屋根が最も多く、雨漏りをしたら屋根を直せば良い、とさえ言われていました。

しかし、軒の出幅が小さくなっていくのと合わせて、外壁からの雨漏りが多くなり、10年ほど前を境に、屋根よりも外壁からの雨漏りが多くなりました。

外壁の工事は従来と大きく変わっていません。例えばサイディング壁であれば、壁の内側に、右写真の様な防水紙が張られています。

外壁が従来と変わらないにも関わらず、外壁からの雨漏りが増えた要因は軒の出が小さくなったことにより、外壁



が雨に濡れる回数が多くなったからだと考えられています。

軒が大きければ、外壁を濡らすような雨は、強い風を伴う雨の時に限られますが、軒が小さければ、ごく弱い風の時でも壁を濡らす事になります。

たとえ、雨漏りをするような外壁の状態だったとしても、雨水で濡れる事が無ければ雨漏りは発生しないという事です。

軒の出の小さな家は、スッキリした見た目と比較的低価格での施工が出来るので、人気を博していますが、雨漏りのリスクが高いという事は知っておいた方が良くと思います。

豆知識

～肉屋のコロッケに秘められた犯罪～

肉屋コロッケが犯罪？という意味深なタイトルですが、ちょっとした笑話です。



とある個人経営のお肉屋さんの人気商品のコロッケがある日、売れ残ってしまいました。

次の日になったらお店では売る事が出来ないし、捨ててしまうのもったいない、という事で、売れ残ったコロッケを自宅に持ち帰り家族で食べたそうです。

まあ、良くありそうな話ですが、これ実は犯罪なんです！なんと「業務上横領罪」にあたる可能性があります。

なんと世知辛い話ですが、こういう法律にしておかなければ、故意の発注ミスによる商品の横流しが横行してしまうんだそうです。

このコロッケの様なケースで、実際に罪を問われる可能性は極めて低いかと思いますが、ごく身近な所に犯罪者になる可能性が有るんですね(▽^)

現場の本音をぶっちゃけます！ ～現役職人営業マン 田中彪の奔走日記～ 第5回



先月号に続きになりますが、念願のマイホームを購入致しました！この業界に携わり、多くの物件を見て、直して、塗装して、学んだ事をフル活用することで、何一つ不満のない、納得の家を見つけ出す事が出来ました！

家を買うにあたって、立地や間取り、駐車スペースも当然の条件に入りますが、僕が絶対条件として考えたのは家自体の作りです！

普段通りの営業スタイルで物件を見てみると、施工上の不具合が目についてしまうんです…。なかなか良い物件が見つからず苦戦しましたが、ついに、納得のいく物件を発見！

ここで社長も参戦(笑)社長にも 物件の状況を確認してもらい、良い家だとの太鼓判をもらい、購入を決断しました！これからも精一杯頑張っていきます！因みに、我が家の10年後の塗装工事はトーンリフォームで決まりです(笑)

最新の工事写真を更新しているホームページが大好評です。
過去の施工例も満載！
毎日たくさんのアクセスをいただいております！
是非ご覧ください

塗人-てっちゃんこと
社長の田中です



マイブームは
「京都アニメーション」

塗人コラム ☆ペンキ屋社長のお仕事日記☆

No.47 「屋根の詐欺師にご注意を！」

「屋根の板金が浮いてますよ」などと言って、営業周りをしているリフォーム業者さんがいますが、中には、詐欺まがいの工事を提案してくる会社もありますので注意が必要です。「点検商法」「火災保険商法」「指摘商法」などと呼ばれ、社会問題になっています。

点検商法とは、「お宅の屋根浮いています、無料で点検します」などと言い寄り、安心させておいて、他の工事で高額契約を迫ってくる、この様なやり口です。

火災保険商法とは、「お宅の屋根、火災保険を使えば、タダで直せますよ」などと言い寄り、知らぬ間に、火災保険詐欺に加担させられる、この様なやり口です。

指摘商法とは、「お宅の屋根、早く直さないと雨漏りしますよ」などと不安をあおり、不必要かつ、高額な工事を迫ってくる、この様なやり口です。

何れの場合も、素人には分かりにくい屋根を狙って、言い寄ってきますが、まずは落ち着いて、

「必ず、ご自身の目で屋根を見て下さい！」

営業マンに見えて、素人の目に見えない事など、そうそうありません。地上から見た破損状況は以下の通りです。



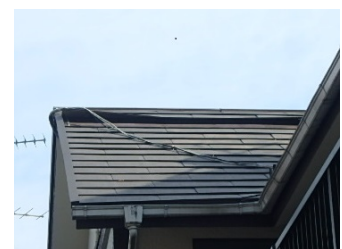
↑棟板金のめくれ



↑棟板金のめくれ



↑テレビアンテナの倒壊



↑屋根のめくれ

この様に、地上からでも、破損や被害の箇所は見えるものです。もしも、ご不安であれば弊社までご相談下さい(^^)/



神奈川県知事許可(般-30)第79168号

(株)トーンリフォーム

相模原市南区下溝2078-9

TEL 0120-775-388

お見積り無料！お気軽にお問い合わせください！